



ネットの検索感覚なのでしょうか？

それ、匿名電話で済ませる内容ですか？

月に1回ペースの「ちよっとさん」



当事務所は、相続の広告を市内バス、高速バス、タウンページで行なっています。

その広告を見た方から、電話をいただくのは大変うれしいのですが。

中には、こんな言葉から質問をされる方がいます。

(その1) 「ちよっといいですか？」といきなり質問に入ってこられます。

はじめに名前を告げずに、「ちよっといいですか？」と話を切り出すかたが、段々増えてきました。(ここでは、「ちよっとさん」と書きます。)

「ちよっとさん」には多くの共通点があります。

- 1) 非通知や公衆電話から架けてくる方が多い。
- 2) 質問は、1つではありません。
- 3) 始めに簡単な質問をして、その次に段々聞きたいことを尋ねてきます。

核心部分の質問は、「ちよっとさん」もしくは配偶者には有利なことを聞き出したい。
他に相続人がいたとすれば、安易に答えられません。

そんな大事なことが「ちよっといいですか」から始まることにいつも疑問に思います。
(当事務所は、ナンバーディスプレイの電話ですから、非通知などは電話を取る前に分かります。非通知電話は、初めから「ちよっとさん」思いながら対応します。)

始めの質問を答えるとして、次の質問を聞いた後に「ちよっとさん」に対して、
「すいませんが、名前や連絡先を教えてくださいませんか、もし訂正させていただきたい場合に連絡ができませんので、お答えはできかねます。」と対応します。

すると、「ちよっとさん」は、さまざまな対応を取られます。

- ① スイマセンでした。と言って切る方は少なく。
- ② 突然電話を切る方
- ③ 逆切れする方

結果、後味の悪い思いをします。

（その2）賢い相談者とは。

相続、贈与、遺言などは、税理士資格より、人間力を確かめたいくなるのは当然です。
たとえ、友人や銀行からの紹介でも同様です。

賢い相談者と思われる方は、
まず名前を名乗り、当事務所へ架けるまでを簡潔に説明し、用件を切り出します。
さらに、一度会っていただけませんか？
と電話で言われます。

賢い相談者と思ったら、架かってきた電話では相談内容を尋ねません。
一度目のお見合いでは、相手が相談内容を話さない場合もありますが、
そこは、「ご縁がありましたら、また連絡ください」で終わります。
他の事務所も当たってみてはいかがですか？（これは営業トーク）

相続などは、「十人十色」。いつも「あっ」と驚く連続です。
会ったうえでの慎重は全然かまいませんが、「ちょっとさん」は果して慎重と
いえるでしょうか？
特に今月の「ちょっとさん」のように、奥さんを思っの相談であれば、
名前を名乗っていただければ、お時間を取り、遺言相談となれたのに・・・。

最近、インターネットにて多くの問題解決ができますが、相談内容の前提を
じっくり伺うと、当事務所の回答は、相談者の回答と違ってきます。
我々、し（士）業は、使って何ぼ！ 上手に使ってください。

万代つばさグループ代表
発行者 八百板 誠

（ 税理士法人 万代つばさ 代表社員税理士 ）
（ 八百板誠行政書士事務所 ）

事 務 所 ： 新潟市中央区下大川前通 7 ノ 町 2 2 3 0 番 地 （ 8 階 建 の 1 階 奥 で す ）

0 2 5 （ 2 2 8 ） 4 6 9 7

編集者より 記事は独自の調査分析により書き上げております。

明示、黙示にかかわらず、発行者（当事務所）がこれを保証するものではありません。